

情 報 公 開 文 書

研究の名称	先天性心疾患に対する外科治療の遠隔成績
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 外科学（呼吸・循環・総合外科） 助教 青木正哉
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院で治療を受けた下記に該当する先天性心疾患を有する患者。</p> <p>動脈管開存症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、両大血管右室起始症、房室中隔欠損症、部分肺静脈還流異常症、総肺静脈還流異常症、三心房心、大動脈縮窄・離断症、血管輪、大動脈肺動脈窓、修正大血管転移症、完全大血管転移症、ファロー四徴症、総動脈管症、先天性弁膜症、Ebstein 病、右室二腔症、先天性冠動脈奇形、単心室症(三尖弁閉鎖症、純型肺動脈閉鎖症、左心低形成症候群、右側相同、左側相同等)、重症心不全を呈する心筋症・及びその類縁疾患、その他先天奇形に起因する心疾患。また、川崎病に起因する心疾患も対象に含む。</p> <p>【研究の目的・意義】 先天性心疾患は全出生の 1% に認める先天奇形であり、心室中隔欠損症、心房中隔欠損症などに代表される疾患の外科治療は近年の周術期管理の向上も相まって非常に良好な成績が得られるようになりました。一方、不整脈で難渋するケースや、成人期に発見された心室中隔欠損症に対する外科介入の可否など、治療の難しいケースもあり、診療経験を蓄積していく必要があります。特に、疾患頻度の低い先天性心疾患や成人先天性心疾患は 1 例の診療経験であっても学術的に貢献し得る可能性があり、いずれの疾患においても経験の蓄積・分析が望まれます。</p> <p>富山大学附属病院では年間 100-150 例程度の先天性心疾患手術を毎年行っており、北陸地方の基幹施設です。多くの症例を当院で継続的に経過観察しており、診療記録、検査所見、治療予後などの経験を蓄積し続けています。当院での成績、検査などから得られたデータを基に、より良い診療へ役立てます。</p> <p>【研究の方法】 診療録から臨床経過、手術所見、血液検査所見、心臓超音波検査および心臓カテーテル検査所見等の臨床経験を集計し、治療予後を後方視的に検討します。</p> <p>【研究期間】 承認日から 2025 年 12 月 31 日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 国内外の学会への発表、査読制度のある論文への投稿</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	研究用に新たに検査を行うことはありません（必要な検査は全て臨床判断に基づき施行します）。患者様の情報は匿名化し、個人が特定されないように管

(他機関への提供の有無)	理します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 外科学(呼吸・循環・総合外科) 助教 青木正哉
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 外科学(呼吸・循環・総合外科) 助教 青木正哉
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7330</p> <p>FAX 076-434-5032</p> <p>E-mail masaya@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学附属病院 外科学(呼吸・循環・総合外科) 助教 青木正哉</p>